

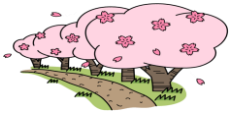


大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 68 号
2020年2月 28日発行

今年度最後の発行となりました。65号から68号まで4回の発行でしたが、発行に当たりご協力いただいた市町村の方々、ありがとうございました。

各地区からのおたより



今回の原稿は

- ① 徳之島町
 - ② 今年度定年退職される2名の先生
 - ③ 新規採用者の声
- です。

年度末のお忙しい中、ご寄稿くださりありがとうございました。次号は、来年度6月発行予定です。市町村の研修会での様子、様々な取り組み、写真、趣味の原稿等お待ちしております。

徳之島町事務職員部会

井之川中学校 宮後 公治

こんにちは。徳之島町事務職員部会です。徳之島町の事務職員数は2017年4月より1名減となり9名で活動しています。支援室は地理的条件により南北に分かれ2つの支援室で業務を行っています。町独自の研修会は年8回、徳之島町三町での研修会も年3回開催しています。

町の研修会では研修テーマを設定し、「保護者負担軽減」「学校財務既定の制定」「就学援助事務の改善」「業務改善」を柱とした研修を行っています。また、研修テーマに沿った内容で毎年研修視察も実施しており、今年は1月17日に鹿児島市第14支援室、南九州市川辺ブロックを訪問し研修をさせていただきました。

各市町の財政状況による地域間の格差や、教育委員会等の人的配置による支援体制等の相違はありますが、子どもたちの学習権を保障するための取組等を学ぶことができ充実した研修視察を実施することができました。今後も「学校事務職員」としての資質向上を目指し、研修を深めていきたいと思っております。



《研修視察の様子》1



《研修視察の様子》2

～今年度、定年退職を迎えられる

お二人の先生方からメッセージが届きました～

退職にあたって

早町小学校 岡部 信也

37年、長くて、短く感じた事務職員生活。自分は、曾於地区の準へき地蓬原小学校を皮切りに甕島の里中学校や奄美大島地区の今里中・早町小学校、始良地区の山奥の漆小学校など地方の学校を回ってきました。少しは地方や小規模の学校の教育活動に貢献して来たかなと思っています。

そして、何事も楽しむことを心情として生活しています。仕事も楽しんでやりたいと思っています。仕事がキツイ、嫌だなと思ってやっているよりも、キツイ仕事でもその中に何かしらの楽しみを見つけ出し、楽しんで仕事をする事によって、仕事のきつさが少なくなったり、良い仕事ができれば儲けものだと思います。

人事異動で行った地域に住み、地域の行事に積極的に参加し、その地域の行事や自然を堪能し、地域や行事を楽しみ、学校の保護者や地域の方々と知り合い、人を楽しみながら生活できればより幸せな生活が出来ると思っています。

20年後はICTの技術は加速度的に進み、2045年までにはAIが人間の知能を超えるシンギエラリティ（技術的特異点）に到達すると言われています。

2015年12月に英・オックスフォード大学のA・オズボーン准教授と（株）野村総合研究所の共同研究により発表された「601種の職業ごとに、コンピューター技術による代替確率を試算」という調査データから、女性セブン誌（2018年6月22日号）には、無くなる職業・残る職業ランキングで学校事務は、無くなる職業ランキング6位（向串4位）であることが掲載されています。

37年間やって来たこの学校事務が、20年後にはなくなってしまうかもしれないと思うと非常に悲しい事実だと思えます。

無くなる仕事は単純で繰り返し作業、逆に生き残る職業とは、対人間に関する仕事・創造的知性が必要な仕事であることがいえます。

アウトソーシングやAI化は私たちが望む望まないにかかわらず、今後、段階的に導入されることと思います。これからは、アウトソーシングやAI化と共存し効率化を図り、余った時間を付加価値の高い業務ができるようにしなければならないそうです。

明るい事務職員の未来を作るために、事務職員としての考え方や行動の仕方を考え直して、20年後も事務職員という仕事が存在していて欲しいものだと思います。

若い皆さん、現在は事務の仕事の過渡期です。皆さんの頑張りしだいで学校事務という職業が生き残っているかもしれません。学校事務の未来は皆さんの双肩にかかっています。

定年退職します

亀津小学校 戸越 和吉

私が学校事務職員になって、今年で42年目になります。高校卒業後、何も分からない状態で新採として種子島の高校に採用されました。生徒数は800人を超える大規模校で、事務職員も5人いました。当時は電卓もパソコンも無い時代で、ソロバンで計算をしていました

現在給与支給内訳書は電算処理されて送付されますが、当時は事務職員が計算して手作りの給与支給明細書を職員へ渡していました。授業料の徴収も口座引き落としの制度もなく、すべて窓口徴収でした。土曜日・日曜日には日直を置かなければならず、若い職員が勤務していました。2校目は現在の日置市の高校です。この学校には校内食堂があり、昼食ではお世話になりました。3校目は鹿児島市にある定時制の高校で、働きながら学ぶ生徒が夜学校に来て授業を受けていました。職員は昼出勤して、夜帰るという勤務体制でした。事務室には全日制・中間定時制・夜間定時制・通信制の4課程の事務職員が1つの部屋に同居していました。4校目は養護学校で職員数が100人を超えていました。異動者が多い時は30人位いて、4月の異動書類の処理が大変だった事を覚えています。特別支援教育就学奨励費も小学部・中学部・高等部全員に支給していました。委託契約ではスクールバスが5台いたので入札業務が大変でした。また、校舎の増築工事があり業者との打ち合わせを覚えています。5校目は現在の始良市にある小学校です。はじめての義務制の学校で、仕事内容も変わりました。6校目は天城町の小学校です。兼務校もありました。この学校では新校舎建設があり、会計として寄付金の徴収や遊具等の施設を整備しました。平成25年9月1日から共同実施が始まり天城町事務職員6人で活動しました。7校目は徳之島町の小学校です。共同実施は南ブロックで事務職員6人を3年間経験し、その後組織再編をして事務職員3人で活動することになりました。徳之島では三町事務職員会という情報交換の出来る場もありました。以上、私の経歴を書いてみました。室長として6年7ヶ月やってきましたが、責任のある立場で認定をする時には誤りの無いように慎重に処理してきました。小学校・高等学校・養護学校を経験しましたが、その時の仕事をちゃんとしていれば後に繋がって行くし、仕事で大変な思いをすれば次の学校では大変だと感じなくなる。入院したこともありましたが、他の学校の事務職員に支えられ、今日まで過ごすことができました。ありがとうございました。

お二人の先生方、長い間、お疲れさまでした。熱い思いが伝わってきました。

お二人の新しい始まりが、ステキなものになるようお祈りします。

これからも、大事協のことも見守っていただけたらと思います。



新規採用者の声



新採からの2年間を振り返って

花徳小学校 玉利 優実

花徳小学校に赴任してから、2度目の3学期を迎えました。また異動関係で忙しくなるなど思いつつ、昨年度とは異なり冷静に受け止められている自分に驚きも覚えます。

思い返すと、赴任したばかりの頃は何が分からないのかが分からず、日々の業務をこなすだけで精一杯でした。そのようななかで何度も直接、あるいは電話で指導して下さった支援室の先生方、前任の先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

最初は緊張していた学校も、少しずつ子どもたちと話すようになり、今では毎日お絵かきやサッカー談議を楽しんでいます。明るく素直な子どもたちに元気をもらいつつ、事務職員として彼らに何をしてあげられるのか模索する日々ですが、来年度はこれまで以上に子どもたち、また先生方のためになることを見つけて実践していけたらと思います。

至らない点が多く、皆様にご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。



採用から1年を振り返って

城ヶ丘中学校 新福 竜弥

新規採用で沖永良部島の城ヶ丘中学校に赴任してから1年が経とうとしています。昨年の4月、何も分からなくて戸惑うばかりだった自分が、今なおここでお仕事を続けられているのは、支援室の先生方を始めとする周りの優しい方々のお陰です。大変感謝しております。

城ヶ丘中の生徒は、少し大人しい子が多いですが、学校内外を問わず、立ち止まってこちらを向いて挨拶をしてくれます。なかなかそんな中学生は見ないので驚きました。すごいです。そして、城中の先生方は皆さんとても生徒思いで、毎日熱く指導されています。そんな生徒と先生方のために、少しでも貢献できればなという思いで、日々の業務に取り組んでいます。

新規採用という未熟な身ではありますが、学校事務について知識が乏しいからこそ、先入観無しで業務を見つめることもでき、これが新規採用者に期待される面ではないかとも考えます。業務を学んでいく上で、「(学校のために)本当にそれでいいのか?」という疑問を持つ姿勢で、私自身の教育事務への考え方を高めていきたいです。

【 第3回理事会報告 】

2月14日に令和元年度第3回理事会が開催されました。今年度の活動経過報告、本年度会計決算見込報告、来年度役員体制について、および来年度予算概案等について協議をしました。

予算(案)について、来年度は

- ・会議費を1,000円アップ
- ・地区活動費を全員2,000円アップ
- ・現状報告会総代会出席分(副会長)旅費予算化
- ・交流会等補助金を500円アップ

理事会日程について、来年度は

- 1回目 6月4日
(6/5地区事務研終了後総会16時05分～)
- 2回目 10月27日
(10/28地区事務研研究事例発表14時30分～)
- 3回目 2月12日
(市町村担当者連絡会 / 理事・総務課懇親会)

地区事務研研究事例発表担当について、来年度は

1. 発表 西部・瀬戸内
2. 司会 天城・徳之島
3. 記録 大和・宇検

大事協だよりについて、69号は

原稿担当市町村は、龍郷町・喜界町
編集担当は知名町

新規採用者からの原稿も依頼いたします。

原稿等のご準備をお願いします。

県事協だより[大島地区紹介]の原稿作成は

沖永良部・与論に原稿の担当をお願いします。

現状報告会について、来年度は

8月7日(金)(山の日の前日の平常日)

大島地区参加枠 15人

令和4年度は大島地区が報告を担当する予定です。

【 新理事の方へ 】

市町村ブロック事務職員会組織表と共同実施計画表を4月17日までに、書記へメールしてください。

新年度を迎えるにあたって、理事が変わる市町村につきましては、旧理事と新理事で次年度への引継ぎをきちんとしておいてください。